

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日： **7月15日**

氏名			
所属	外国語学部 () 研究科	スペイン語 学科・専攻	3 年次
派遣先大学	ジャウマー世大学		10 ヶ月間

以下の項目に入力・選択をしてください。なお、この調査は個人情報（名前等）を削除した上で、これから留学する学生並びに留学を考えている学生に公開させていただきます。

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	住居形態の詳細を教えてください。	例) ルームメートの人数と国籍、部屋数、間取り (2 LKD)、広さなど (スペイン人家族3人犬一匹との生活、3部屋ピソ)
3	入居時手続き	例: Housing Office でデポジットを払い、学生寮の受付で鍵を受け取る (現地国際センターの仲介で紹介していただきました。現地国際センターのファミリープログラム担当者に連絡を取り、最初にアンケートを行い希望のファミリーを伝え、そこから4家族の詳細が送られて来ました。その後はメールで直接ファミリーに連絡を取りました。 現地に着いた際ファミリーが駅までお迎えに来てくださり、家に案内していただきました。)
4	費用 (月額)	500 (€) (食費 40€ /月)
5	支払方法	月ごと現金で (例: 月ごとに現金で、クレジットカードなど)
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ()
7	住居選択方法	<input type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ()
8	周囲環境	例: 近隣のスーパーなどの大きさ、駅・バス停からのアクセス、など (近くにスーパー、銀行、キヨスク、コピー屋さんがあります。また、街のセンターから5分ほどの所に位置しとてもアクセスが良かったです。駅までは15分ほど徒歩でかかります。バス停は家の近くにいくつかあります。)
9	アクセス	例: 大学からの距離・アクセス方法、駅・バス停からの距離・費用 (大学から4キロの場所に位置しトラムで20分ほど離れていました。自転車で通うことも出来ると思います。トラム、バスは一回1.5€で乗ることが出来、10回券(10€) や一か月定期のようなものもありました。(30€))
10	留学中の住居に関して アドバイス	(今後留学をする学生に対して) : (私が選んだホームステイ先での生活はとても快適でした。本当の家族のように扱ってくれてスペイン語だけでなく、文化も深く知ることができました。どの宿泊形態でも言えることだと思いますが、気

		持ちよく過ごすためには同居人への配慮や気遣いは欠かせないと思います。また一概にホームステイをお勧めできないのは私の友達はホストファミリーと性格や食事などが原因でうまくいかなかったりしていたからです。いかに自分と合うファミリーと出会えるかが大切だと思います。
1 1	引越された方は引越し先の住居形態を記入ください。	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
1 2	詳細を教えてください	(ファミリープログラムを利用する学生に対して現地国際センターから奨学金が給付されます。受給金額はプログラム参加者の人数によって変わります。私は奨学金のおかげで三食付き月額300~350€程でホームステイをすることが出来ました。家によって差はありますが、ホームステイの平均家賃は450€だそうです。ちなみに、月額学生寮は400~600€、シェアハウスは150~200€程です。)

II. 通信環境について (該当の項目を選択、または入力してください。)

1	日本キャリアの携帯電話	ドコモ
2	現地キャリアの携帯電話	選択してください。
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	例：ショッピングモールの電気屋に行きSIMを購入 (カステジョン市内でSIMカードを購入しました。)
4	自宅のインターネット接続環境	Wi-fiがあります。
5	大学内インターネット接続環境	Wi-fiがあります。

III. 留学費用について

諸経費 (1ヶ月の平均)		※現地通貨で記入。()内に通貨単位を記入すること。	
1	1 宿舍費	350	€ /月 (現地大学からの補助金利用)
2	2 食費	40	€ /月
3	3 交通費	40	€ /月
4	4 通信費	15	€ /月
5	5 娯楽費	30	€ /月
6	6 図書費	0	€ /合計
7	7 学用品 (教科書など)	100	€ /合計
8	8 被服費	30	€ /合計
9	9 医療費	0	€ /合計
10	10 雑費・その他	10	€ /合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む) ※日本円または現地通貨で記入。			
1 1	1 出願料・宿舍デポジット	0	(円) /合計
1 2	1 ビザ申請関連費	0	(円) /合計
1	1 航空券代	約 150,000	(円) /往復 (学生ロングステイ料金)

3	(休暇時旅行費用は除く)		
1	その他 (スペイン語4コース受講)	574	(€) /合計
4			
1	留学全日程に要した総額 (概算)	約 150,000	(円) /合計
5			
お金の持って行き方			
1	<input type="checkbox"/> 現金 (渡航時: 70,000 円)		
6	<input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード(銀行名:)		
	<input type="checkbox"/> 海外送金		
	<input type="checkbox"/> その他 ()		
1	現地で銀行口座開設	いいえ	
7			
1	手続き方法・利点・欠点	ATM で手数料無しで引き落としをしていました。どこの銀行の ATM でもお金が下せるのでとても便利でした。欠点は	
8		出費をこまめに記入し管理すると思います。	
1	お金に関するアドバイス		
9	(今後留学をする学生に対して)		

IV. 保険・医療について

1	海外旅行 (留学) 保険の種類 (例: L2プラン)	東京海上日動 (か月分で 円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか?	いいえ
3	(2で「はい」を選んだ場合のみ記入) 海外旅行 (留学) 保険の適用を受けましたか?	選択してください。
4	(3で「受けた」を選んだ場合のみ記入) どのような方法で適用を受けましたか?	選択してください。 その他 ()
5	(4で「受けることができなかった」を選んだ場合のみ記入) 適応されなかった理由はなんですか?	
6	日本から持参した方が良かったと思う薬などはありますか? 理由はなんですか?	洗顔料、風邪薬、日焼け止め、日常的に服用してる薬

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの 夏服、お土産、化粧品、日本食、コンタクトレンズ、薬、パソコン、携帯
2	現地で購入したもの 下着、冬服、ビーチサンダル、SIMカード、
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だったと思ったもの 折り畳み傘、水筒、エコバッグ

VI. 留学先で困ったこと

最初のうちは履修登録や諸手続きに苦戦しました。英語、スペイン語を使いながら問題解決をするのはとても根気がいる作業でした。また、自分から聞きにいかないと置いて行かれてしまうので、積極的に分からないことがあれば現地の国際センター職員に相談していました。ビザ延長関係の手続きでは、警察から提出場所の変更が大学側に伝えられていなかったため間違った場所に行ってしまうかなり振り回されました。予期せぬことが度々起こるとするのは留学初期のストレ

スになったと感じます。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

プログラム開始の一週間前に入国をし、生活に慣れないうちに履修登録などが始まるので出国までに履修科目をある程度決めておくこととスムーズに行うことができます。長期の方は、日本で発行される仮ビザ6か月間有効で現地の警察署で手続きが必要です。警察署の予約が必要で私は3か月待ったので、なるべく早く手続きを始めていただきたいです。

ご協力ありがとうございました。留学状況のより良い把握のため、留学志望者の参考となる写真（大学・授業の様子、設備、街、宿舍などの写真）を添付して提出してください。

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	スペイン語学科	3	年次
氏 名					
派遣先大学 (国)	ジャウマ1世大学 (スペイン王国)				
所属プログラム・ 学部・研究科	法・経済学部	履修言語	英語		
留学期間	2018年9月～2019年6月				
報告書提出日	2019年7月15日				

学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
【記入例】 Fall Semester	9月21日 ～1月21日 (14週)	1月24日 ～2月1日	英語力の結果、本科の授業履修が認められたので、教務課でシラバスを貰いオンラインで登録。オリエンテーション期間として最初の1週間は履修登録を加除できる。XX先生に相談し、……
Semester1	9月10日 ～1月23日 (15週)	1月7日 ～1月23日	現地に着いてから現地国際センターの助けを得ながらオンラインで履修登録をしました。3か月ほど履修変更期間があります。
Semester2	1月24日 ～5月22日 (15週)	5月23日 ～6月14日	1セメスターの試験が終わるとすぐ2セメスターが開始するのであらかじめ履修科目を決めておきました。登録方法は前回と同じオンラインで行いました。

1.2. 履修科目・内容 (数字は半角で直接入力してください)

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	※欄は自動で大きくなるので、十分に記入してください。
【記入例】 Fall Semester	International relations IIB	30 時間	講義が月曜日に 90 分、演習が木曜日に 90 分。内容としては講義は……。演習は……。中間試験・期末試験の勉強としては……。レポートは……。
		1 (時間/回) × 3(回/週)	

		× 10(週)	いて]をご参照ください。
Semester 1	Introduction to British Literature	60 時間	講義は月曜日 2 時間、水曜日 2 時間開講されていました。授業内容は、英語の歴史やイギリス文学を詳しく学ぶことが出来ます。担当教授の話す英語はとても分かりやすく、専門的な知識を沢山お持ちの方でした。文学を学ぶため、予習として沢山 Reading をする必要がありましたが、期待した以上に面白い授業でした。
		2 (時間/回) × 2 (回/週) × 15 (週)	
Semester 1	Information systems management and Tourism organizations	60 時間	講義は、月曜日に 2 時間、火曜日に 2 時間行われていました。 コンピューターを使った授業で最初は、エクセルを使いその後は、アクセスを使いデータベースを作成しました。私は、コンピューターに対する知識が少なかったのもとても難しく、先生のオフィスアワーに訪ねて復習を行っていました。ホームページの作り方、予約フォームや情報を整理するデータベースの作り方はどの業界に進むにも役立つことだと思うので、興味のある方は受講をお勧めします。
		2 (時間/回) × 2 (回/週) × 15 (週)	
Semester 1	Oral expression in English	60 時間	講義は、火曜日に 2 時間木曜日に 2 時間行われていました。教科書を使い Speaking を重点に置いた授業形態です。授業外では課題として文法問題のドリルを期末に提出しました。 スペイン語は原則使われていなかったもので、留学生でも取りやすい授業だと思います。
		2 (時間/回) × 2 (回/週) × 15 (週)	
Semester 1	Course Intensive Spanish (B1.1)	45 時間	講義は週 5 日各 3 時間行われていました。セメスターにもよりますが、少人数の授業だったので先生は添削指導など細かい点まで指導してくださいました。特に、Speaking と Listening の能力が伸びたと感じました。短期間に沢山のことを詰め込まれるので、復習が重要だと感じました。 最終試験では、4 技能全てを問われるものでした。授業を理解していれば合格できるものだと思います。
		3 (時間/回) × 5 (回/週) × 3 (週)	
Semester 1	Course Semi-Intensive Spanish (B1.2)	70 時間	講義は、月曜日・水曜日・金曜日の週 3 回各 3 時間の授業を行っていました。時間に余裕がある分、宿題を課されることが多かったです。授業内容としては基本的な文法事項の復習と応用です。また、クリスマスの期間では関係する単語を学び、調べ学習後プレゼンテーションを行いました。
		3 (時間/回) × 3 (回/週) × 約 8 (週)	
Semester 2	English For Tourism	60 時間	この講義は水曜日に 2 時間、木曜日に 2 時間開講されました。授業内容としては、世界遺産・イベントマネジメント・リスクマネジメント・食事などの観光産業に関わる分野
		2 (時間/回)	

		× 2 (回/週) × 15 (週)	を英語で学びました。また、カバーレターを英語で作成し実践的な事も学べる授業でした。開講言語は英語で比較的分かりやすいものでした。提出物や課題が多いので、日常的に行っていれば単位取得可能だと思います。最終筆記試験では、教科書で学習した範囲のリスニング・英語の文法問題が出題されます。
Semester 2	Spanish Art and Tourist Resources	60 時間 (シラバスに記載されていた時間) 2 (時間/回) × 2/3(回/週) × 15 (週)	この講義は、火曜日の午前中 2 時間、午後 2 時間と木曜日の 2 時間の 3 回授業が行われていました。途中から火曜日の午後の授業がなくなったり、木曜日の授業がなくなったり不規則な授業でした。内容はスペイン美術の歴史を学びました。開講言語は英語を選択しましたが、現地学生が大半なので英語半分スペイン語半分で進行される授業でした。美術に関する知識があるととても役に立つと思います。試験は暗記系のものでなく、授業を学生が理解できていたかを確かめるような試験だったと思います。
Semester 2	Course Intensive Spanish (B2.1)	45 時間 3(時間/回) × 5 (回/週) × 3 (週)	講義は週 5 日各 3 時間行われていました。以前の 2 つのコースとはレベルも先生も変わり慣れないアクセントのため一気に難易度が上がったのを覚えています。単語の量や難易度も上がり、復習をすることで次の授業の理解が深まりました。また、不明点は先生やクラスメイトに相談してなるべくその日中に解決していました。

Semester 2	Course Semi-Intensive Spanish (B2.2)	72 時間 3(時間/回) × 3 (回/週) × 8 (週)	講義は、月曜日・水曜日・金曜日の週 3 回各 3 時間の授業を行っていました。少人数という事を生かして、闘牛やカタルーニャ独立についてのディベートをクラス内で行いました。難易度は高い授業でしたが、吸収する事が多いため受講を通して成長できたと感じています。
------------	--------------------------------------	------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1.2 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について (授業全般を通して記入)

学修する上で授業全般を通じて心がけていたことは、不明点はその授業中に解決するという事です。積極的に先生に質問をし、現地学生に手伝ってもらいながらレベルの高い授業も単位を取得することを目標に頑張りました。予習として宿題が出るときは寝る前にこなし翌日の授業に問題なくついていけるように取り組んでいました。復習は通学時間や休日を利用して行っていました。特に復習のやり方にこだわりはありませんが、短い時間でも回数を行うことで記憶の定着が早かったと思います。

1.3. 語学力について (留学前や留学当初に比べての成果、留学中の取り組みを、内容ごとに分けて記入)

留学前、英語力集中 UP 講座・KU TOP ENGLISH・English Camp などに参加し英語を学んでいました。毎日 5 限に行われる英語講座は大変でしたが、吸収することが多く留学前にとっても役に立った講座だと思います。留学の選考のために TOEFL を受験しました。TOEIC とは形式が異なるので受験希望者の方は早めの対策をお勧めします。スペインに留学しましたが専門科目は英語で受講していました。現地大学での観光学の英語での授業はスペイン人教授が話す英語で行われていたので、特有のアクセントや英語での説明の不足など困難な点はありましたが、自主的に復習をすることで最終的には理解することが出来ました。スペイン語については、日本で教科書のみで勉強していた文法事項を生活するために使わなければいけないので日本にいた時の何倍も吸収が早かったことを覚えています。スペイン語のクラスはレベルに追いつけるように周りの友達の何倍も勉強しようと思いスペイン人の友達や先生にスペイン語についての質問だけでなく、日頃生活している疑問などをよく質問していました。

1.4. 研究について (※大学院生のみ記入)

留学の成果を振り返って

1.5. 学修の成果(学修内容と取り組みから得た成果を、内容ごとに分けて記入)

私は、スペインで大きくスペイン語・英語・観光学の3つを学修しました。スペイン語 DELE B1 と B2 のクラスで勉強していました。基本的な文法事項は学習済みのレベルなので、復習と細かなニュアンスの違いや表現などを主に勉強していました。また、少人数クラスだったためネイティブの方に添削指導をしていただけるのはすごく良い機会だと思いました。英語そのものを学ぶというよりは、英語は基本的に学ぶための手段として利用していました。例えば、英語で観光学の授業やイギリス文学の授業を受講しました。授業の理解度はかなり良かったので、英語に慣れるという面では良かったのかもしれませんが、その授業を取ったことによって英語力が向上したかどうかはわかりません。観光学については、主にスペイン国内の世界遺産・芸術・建築とその歴史について学びました。この授業を通じてスペインの事をよく知ることが出来たとともに新しい知識が増えたことによる興味の幅も広がりました。

1.6. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス (内容ごとに分けて記入)

学修面の反省点はプレゼンテーションや課題の準備を計画的に進めることです。個人作業なら自分のペースで行えるのでとても楽なのですが、グループワークの場合がほとんどなのでどうしてもうまく進まないことがほとんどです。特に、現地学生はギリギリになるまで危機感がないので率先してグループワークを引っ張っていくことが重要だと思います。グループワークは留学生だけで固まったグループで行なうよりも、現地学生と一緒にいることをお勧めします。なぜなら、スペイン語の勉強になる事と先生がスペイン人のため、授業中や課題の指示が英語よりもスペイン語の方が詳しくされていることが多いからです。また、現地学生は留学生にはない先輩からの授業に関する情報など持っていたりするので勇気をだして現地学生とグループワークに取り組むことをお勧めします。

1.7. 留学生活で得られたもの (学修を除く、留学生活で得た成果)

留学生活で得られたものは、自主性や行動力だと考えます。異文化で生活するという事は慣れている日本での生活とは異なり、言語的不自由のある中自分でどうにかしなければいけないという事です。履修登録・書類の手続きどれもわからない事が沢山ありましたが、自分で行動を起こし解決しようとしないうちは周りも手伝ってはくれません。そのため、受け身で生活するのではなく何事にも挑戦するという姿勢で物事に取り組むことにしました。そうすると今まで難しく諦めそうになっていた事でも友達やホストファミリーの協力を得ることで解決し成長することが出来ました。積極的に何事でも挑戦してみること、自主的に行動する事で私自身も成長できたと感じています。

1.8. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス（内容ごとに項目を分けて記入）

留学生活での反省点は、家計簿のようにお金の動きを目で見てわかるように残しておけば良かったと思いました。最終的にいくらかかったのかを計算する際に役に立つとともに無駄な出費を減らすことが出来ると思います。そして金銭的に余裕ができたらもっと他の EU 圏内の国を旅行し思想や文化の多様性に触れたかったと今になって思います。EU 圏内は基本的に日本から行くよりは低価格で旅行できるのでこの機会に様々なことを体験したら良かったと思います。

他の面では、一年という短い時間の中でもっと友達と過ごせば良かったと感じています。勉強だけではなくアクティブに外出すれば良かったと思います。

生活面のアドバイスとしては、マドリード・バルセロナなどの大きな都市に行く際はスリなどに十分に気をつけてください。特にお祭りなどの期間中はスリ目的の人も国内から集まってきます。自分は大丈夫だと思わずに対策することをお勧めします。スリなどを含め、留学中に予想外のことが起こるかもしれません。落ち着いて大学の国際センターに相談する、保険会社に連絡する、交番に行くなど臨機応変に適切な行動をとってください。

※作成できましたら国際センターまで、Feelnote のプロジェクトよりご提出ください。

※ファイル名を、神奈川大学派遣交換留学修了報告書（派遣先大学・氏名）に変えてください。